あなたと“未来”を見つめます。
U-BANK えいわ

永和信用金庫 ディスクロージャー

DISCLOSURE 2021

えいわ with your smile 90

これまでも
これからも

since1931

永和信用金庫

これまでも これからも
with your smile

おかげさまで永和信用金庫は今年、創立90周年を迎えます。
これまでも、そしてこれからも、地域の皆さまに元気と笑顔をおとどけし、
ともに成長していく、コミュニティバンクとして
100周年に向けて、役職員一同全力で取り組んでまいります。

経営理念

私たちは、
地域金融の担い手として誇りを持ち、
お客さまとの共感と信頼を大切にし、
健全経営を軸に
創意と活力のある金庫をめざす。

行動指針

創造する心
何ごとにも創造的に取り組み、挑戦する活力を持とう。

柔らかな視座
常にお客さまの身になって考え、誠実に行動しよう。

新時代への感度
情報感度を高め、新時代に対応するセンスを身につけよう。

確かな品質
高品質の商品とサービスを確実に、迅速に提供しよう。

CONTENTS

経営理念・行動指針
ごあいさつ

■ 地域社会と歩む
ハイライト …… 3

■ 地域との共生
金融仲介機能の発揮状況 …… 5
持続可能な社会の実現に向けて …… 9
社会貢献活動 …… 10

■ えいわの健全性
内部管理態勢 …… 11
コンプライアンス態勢 …… 13
コーポレートガバナンス ～総代会制度～ …… 15
U-BANKネットワーク …… 17

■ 営業のご報告
預金商品 …… 19
融資商品 …… 21
各種サービス業務と主要な業務内容 …… 22
手数料一覧 …… 23
金庫の概要 …… 25
信金中央金庫のご紹介 …… 27

■ えいわの業績
2020年度の業績について …… 29
決算のご報告 …… 31
主要経営指標 …… 35
預金・融資の現況/国際業務 …… 37
リスク管理債権等 …… 39
証券業務 …… 41
当金庫の自己資本の充実の状況等について ～定性的及び定量的な開示事項～ …… 43
開示項目一覧 …… 50

ごあいさつ

健全性を軸に
「地域に必要とされる」
金庫をめざします

理事長　翁長自夫（おながよりお）

皆さまにおかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は永和信用金庫に対し格別なお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに「永和信用金庫 ディスクロージャー2021」を作成いたしましたのでご報告申し上げます。

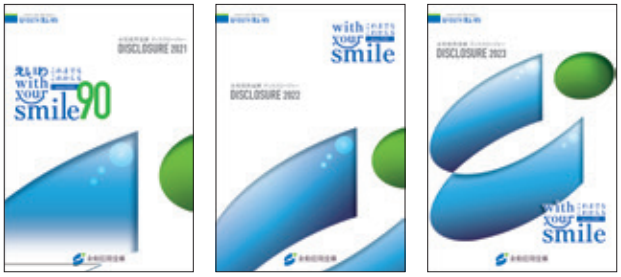
2020年度の日本経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により、大きな打撃を受けました。関西経済におきましても、コロナ禍以前は大阪・関西万博の開催決定、IR（統合型リゾート）の誘致推進、インバウンド需要の拡大等追い風が吹いていましたが、一年間で状況は様変わりしました。また、地域の事業者の皆さまにおかれましてはコロナ禍に加え、人口減少や少子高齢化、中小企業数の減少といった構造変化への抜本的な対応が求められ、企業経営を取り巻く環境は厳しさを増しています。こうした状況の下、当金庫ではお客さまとの対話を通じて、長期的な視点できめ細かなサポートを継続していくことが求められる役割であると考えています。金融仲介機能を十分に発揮するために、以前から推進している“事業性評価”を深掘りすることによって、お客さまの経営力強化を支援するリレーションシップバンキングを実践してまいります。

当金庫は本年9月に創立90周年を迎えます。これもひとえに、皆さまのご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。これからも「お客さま目線」で地域金融機関の使命を果たしていく所存でございます。皆さまには今後とも末永く変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2021年7月

表紙デザインについて

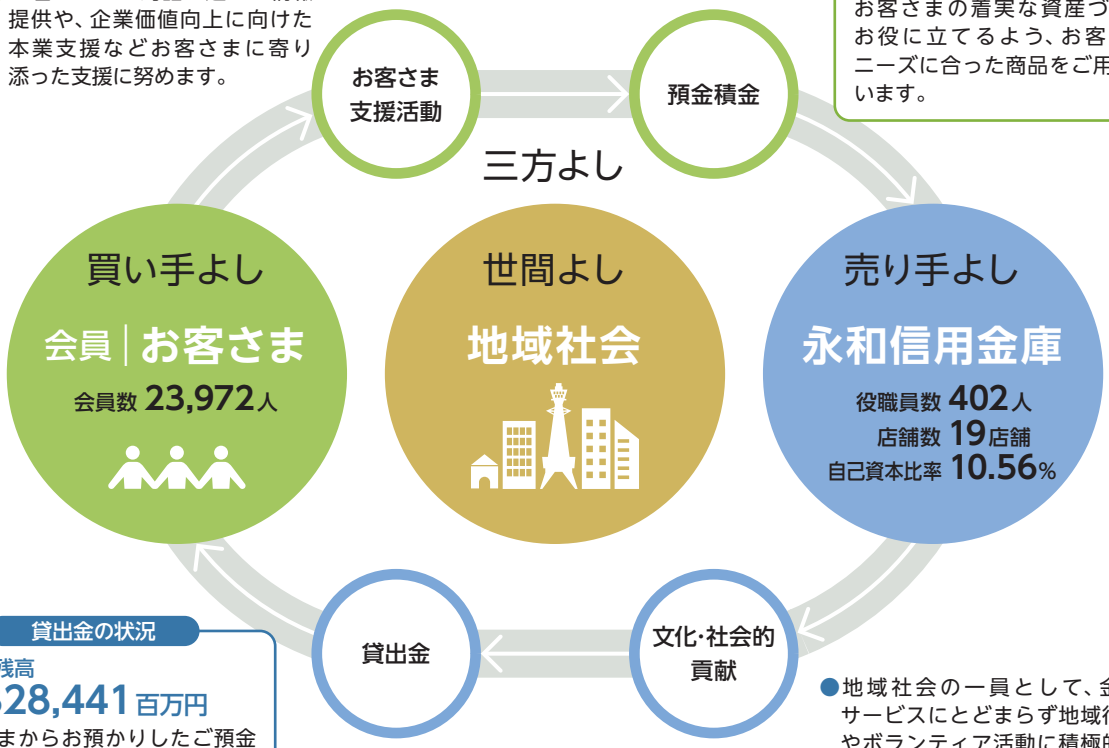
これからも地域において金融仲介機能を発揮し、お取引先のニーズや課題に応じたソリューションの提供を行うことで、地域での存在感を高め、より一層必要とされる金庫をめざす姿勢を、フレームインするシンボルマークで表現しました。



ハイライト

U-BANK えいわ がめざすもの

●お客さまとの対話を通じた情報提供や、企業価値向上に向けた本業支援などお客さまに寄り添った支援に努めます。



預金積金の状況

預金積金残高
649,665百万円

お客さまの着実な資産づくりのお役に立てるよう、お客さまのニーズに合った商品をご用意しています。

貸出金の状況

貸出金残高
328,441百万円

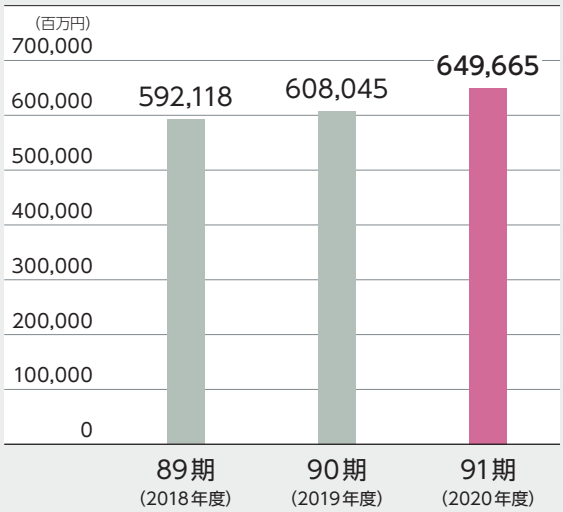
お客さまからお預かりしたご預金は、地域の皆さまの事業発展と豊かな暮らしを実現するご融資に活かしています。

●地域社会の一員として、金融サービスにとどまらず地域行事やボランティア活動に積極的に参加しています。

※計数はいずれも2020年度

預金残高

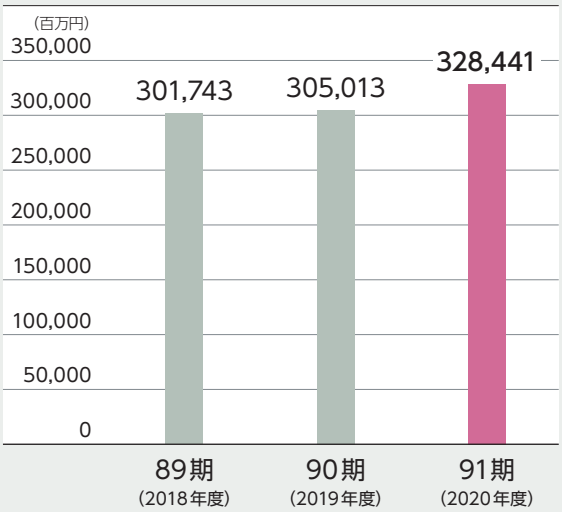
お客さまからご信頼いただき、着実に残高を増加させています。



さらに詳しい内容は37ページをご覧ください。

貸出金残高

お客さまの多様な資金ニーズに積極的にお応えしています。



さらに詳しい内容は37ページをご覧ください。

地域との絆を大切に、ともに歩んでまいります。

永和信用金庫は2021年9月に創立90周年を迎えます。創業以来、信用金庫としての使命･役割を果たすべく、地域のお客さまに寄り添い、きめ細やかなサポートに努めてまいりました。

これからも地域との絆を大切にし、お客さまとの「長いおつきあい」や「対話」を通じて信頼関係を構築し、リレーションシップ･バンキングを実践してまいります。

永和信用金庫SDGs宣言

永和信用金庫は経営理念に基づき、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献してまいります。

地域金融機関として地域の社会的課題解決と経済成長の両立を実現するため、さまざまな事業活動を通じて社会の持続可能な発展と地域との共存共栄の好循環形成に努めてまいります。

未来に向かって「変革」していきます。

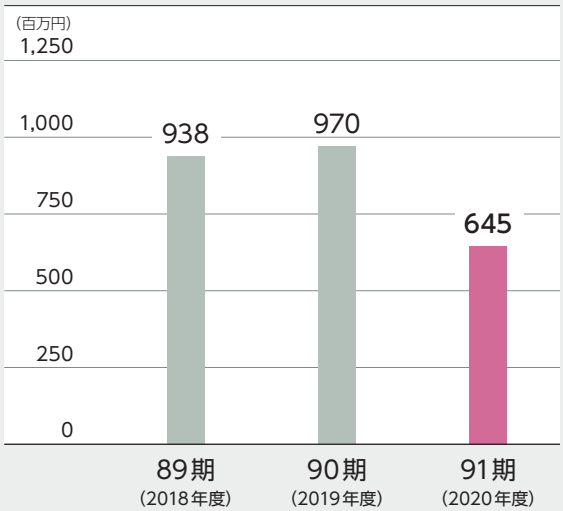
永和信用金庫では、時代とともに移り変わるお客さまのニーズや社会環境の変化に対応するため、本部各部署･営業店が一丸となって「変革」に取り組んでいます。

店舗のスクラップアンドビルドを進めるとともに、創立90周年記念事業として本店別館を建て替え、バックオフィスセンター設置に向け準備を進めています。

営業店事務の本部集中等業務プロセスの再構築により、お客さまの利便性向上に努めるとともに、営業店エリア制･ブロック制、営業店2課制によるマルチタスク化を進めることで金庫全体としての連携強化を図り、経営効率向上を図ってまいります。

当期純利益

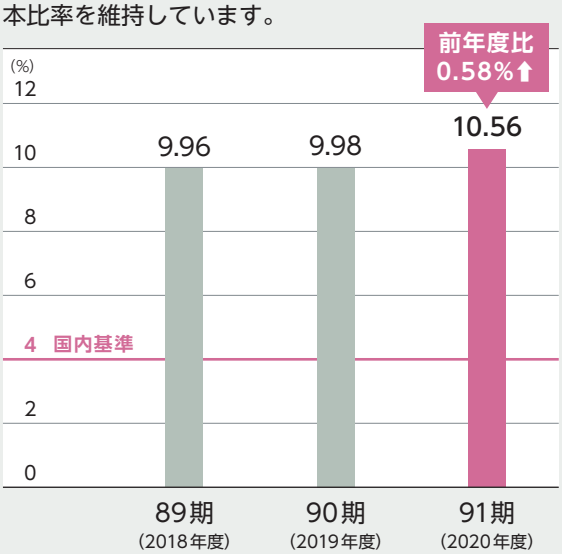
厳しい収益環境下でしたが、合理化を進め当期純利益を確保しています。



さらに詳しい内容は32ページをご覧ください。

自己資本比率

安心･信頼の健全経営をモットーに、高水準の自己資本比率を維持しています。



さらに詳しい内容は43ページをご覧ください。

金庫の概要

柔軟な組織づくりに努めています

所在地

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4丁目7番20号
電話 06-6633-1181 (大代表)

創 立

1931年9月21日

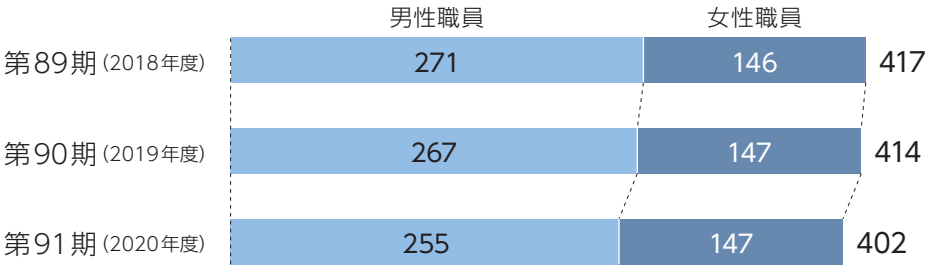
役 員 (2021年6月30日現在)

理事長(代表理事)	翁 長 自 夫	統 括
常務理事(代表理事)	山 本 享 良	マネジメントグループ担当、信用金庫協会関係担当
常勤理事	奥 善 弘	営業支援部長委嘱、ベンチマーク推進委員会委員長委嘱
常勤理事	仲 喜 之	本店営業部長委嘱
常勤理事	尾 上 剛 司	事務サポート推進部長委嘱、オペレーショナル・リスク管理委員会委員長委嘱、BPR推進委員会委員長委嘱
常勤理事	八 嶋 宏 佳	業務推進部長委嘱、ALM委員会副委員長委嘱
常勤理事	木 村 孝 (※1)	監査部長委嘱
常勤理事	西 村 粋 (※1)	ALM委員会委員長委嘱、AML/CFT委員会委員長委嘱、賞罰委員会委員長委嘱、オペレーショナル・リスク管理委員会副委員長委嘱、人事・リスクセクション担当
常勤理事	佐々布 晃	融資管理部長委嘱、AML/CFT委員会副委員長委嘱、BPR推進委員会副委員長委嘱、事業性評価融資推進担当
非常勤理事	今 村 峰 夫 (※1)	
常勤監事	梓 野 耕 年	
非常勤監事	木 村 文 俊 (※2)	
非常勤監事	宮 本 佳 宥 (※2)	
会計監査人	あずさ監査法人	

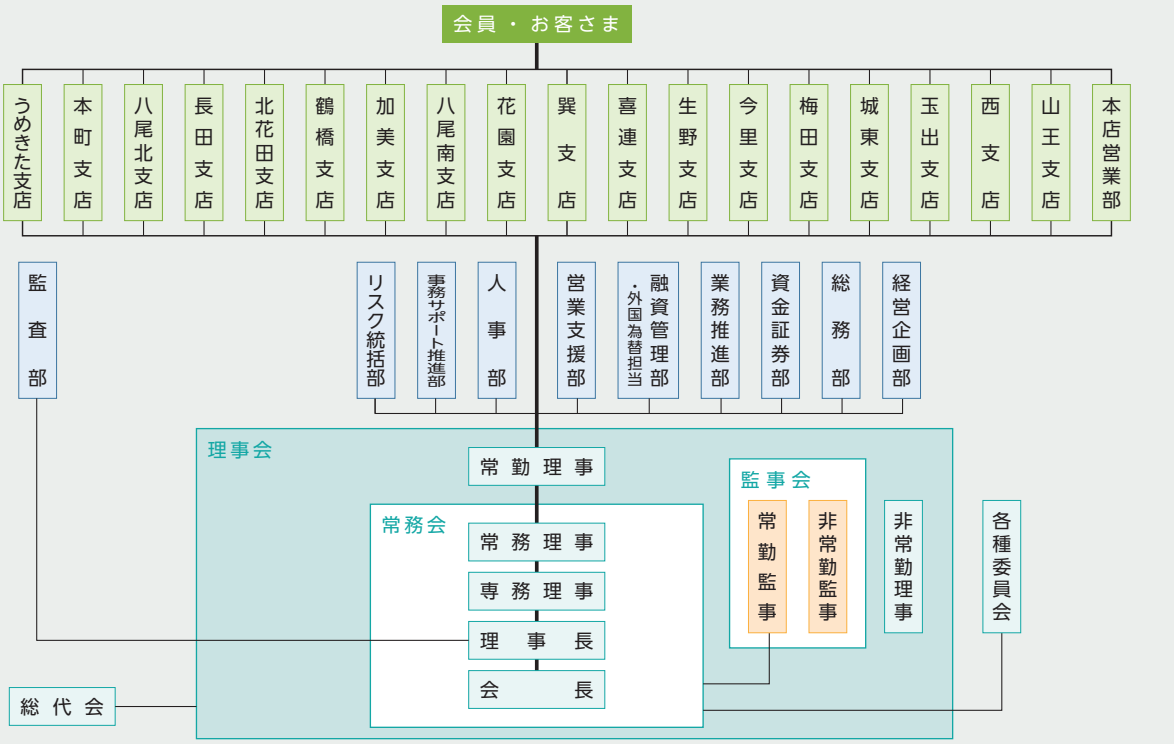
※1 理事 木村 孝、西村 粋、今村 峰夫は、信用金庫業界の「総代会の機能向上等に関する申し合わせ」に基づく職員外理事です。
※2 監事 木村 文俊、宮本 佳宥は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

役職員の状況 (役職員数には嘱託職員を含みます)

役職員数 (単位:人)



組織図



2021年6月30日現在

金庫の沿革

1931年 9月	有限責任山王信用組合を大阪市西成区山王町に設立
1949年12月	消費生活共同組合法により市街地信用組合に改組
1950年 4月	中小企業等協同組合法により信用協同組合に改組
7月	大阪市西区に西支店開設
1951年10月	信用金庫法により山王信用金庫に改組
11月	西支店新築移転
1953年 6月	大阪市浪速区に日本橋支店開設
1955年10月	大阪市西成区に玉出支店開設
1957年 5月	大阪市城東区に城東支店開設
1958年12月	名称を永和信用金庫と改称し、本店を日本橋支店所在地に旧本店を山王支店に改め、日本橋支店を廃止
1959年11月	大阪市北区に梅田支店開設
1962年 8月	大阪市東成区に今里支店開設
1964年 8月	大阪市生野区に生野支店開設
1968年12月	日本銀行と当座取引開始
1969年 8月	東大阪市、八尾市、松原市を営業地区に編入
12月	大阪市平野区に喜連支店開設
1970年 2月	今里支店新築移転
8月	藤井寺市、羽曳野市、柏原市を営業地区に編入
10月	梅田支店新築移転
1971年 7月	守口市、門真市を営業地区に編入
1972年 8月	堺市を営業地区に編入
12月	大阪市生野区に巽支店開設
1973年 8月	寝屋川市、大東市を営業地区に編入
1974年12月	東大阪市に花園支店開設
1975年 8月	自営オンライン開始
1979年 7月	大阪市生野区に生野小路支店開設
1980年 3月	両替業務開始
1982年 7月	八尾市に八尾南支店開設
1983年 7月	大阪市平野区に加美支店開設
1986年 5月	南河内郡美原町を営業地区に編入
7月	大阪市生野区に鶴橋支店開設
1988年 9月	「永研会」（若手経営者サークル）発足
1989年 6月	梅田支店移転開店
8月	本店ビル新築落成
12月	生野支店新築開店
1990年10月	外国為替公認銀行認可（本店）
1991年 9月	VI導入（シンボルマーク、ロゴ、ブランドネーム変更）
1992年10月	東洋信用金庫の事業の一部を譲り受け、堺市に北花田支店開設
12月	東大阪市に長田支店開設
1993年11月	大阪手形交換所直接交換参加
1995年 4月	金融機関初のカジュアルデー実施
5月	大阪共同事務センターに加盟
1999年11月	不動信用金庫の事業の一部を譲り受け、天下茶屋支店開設
2001年10月	巽支店新築移転
2003年 1月	投資信託窓口販売を全店で取扱開始
2008年11月	八尾市に八尾北支店開設
2010年 8月	大阪市中央区に本町支店開設
2012年11月	中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」に認定
2013年 2月	「でんさいネット」サービス開始
5月	北花田支店新築移転
2014年11月	大阪市北区にうめきた支店開設
2015年 6月	「えいわ経営者クラブ」発足
2016年 3月	城東支店新築移転
8月	山王支店新築移転　天下茶屋支店を山王支店へ統合
2017年 3月	玉出支店新築移転
12月	今里支店新築移転　生野小路支店を今里支店へ統合
2018年 4月	大阪府と「中小企業振興に関する連携協定」を締結
5月	「大阪府障がい者サポートカンパニー優良企業」に登録
11月	西支店新築移転
2021年 2月	梅田支店移転開店
3月	長田支店新築移転

信金中央金庫のご紹介

信金中央金庫

証券コード	8421（東証上場）
資　金　量	35兆円
役 職 員 数	1,248人
拠　点　数	国内 14店舗　海外 6拠点

信金中央金庫（略称:信金中金）は、全国の信用金庫を会員とする協同組織形態の金融機関であり、信用金庫の中央金融機関として1950年に創立しました。

さまざまな金融商品・サービスを提供しているほか、全国の信用金庫から預け入れられた豊富な資金を国内外の金融市場における有価証券投資や事業会社などへの貸出により運用しています。

また、信金中金は、「地域の課題を解決する機能」、「信用金庫のセントラルバンク機能」および「機関投資家としての機能」を有しており、地域社会の皆さまに質の高いサービスを提供することで、地域におけるさまざまな課題を解決し、信用金庫とともに持続的な成長を目指しています。

外部格付（2021年3月31日現在）
信金中金は、邦銀トップクラスの格付を有しております。

格付会社	長 期	アウトルック	短 期
Moody's	A1	安定的	P-1
S&Pグローバル・レーティング	A	安定的	A-1
格付投資情報センター	A+	安定的	−
日本格付研究所	AA	安定的	−

機　能

地域の課題を解決する機能

信用金庫がお客さまのために行っている多様な業務をサポートし、顧客ニーズの多様化・高度化に信用金庫が迅速に対応できるよう、中小企業のビジネスマッチングや海外展開、個人の資産形成や相続、地域創生やフィンテックの活用などに取り組んでいます。

信用金庫のセントラルバンク機能

信用金庫の収益力向上や健全性確保などに向けて、信用金庫のセントラルバンクとして、コンサルティング機能のさらなる強化や信用金庫業界のサイバーセキュリティ対策のほか、信用金庫経営力強化制度等の適時・適切な運営を通じて、信用金庫業界の信用秩序の維持に万全を期しています。

機関投資家としての機能

全国の信用金庫から預け入れられた預金や金融債を発行して調達した資金を、国内外の金融商品や事業会社などへの貸出により運用しています。また、グローバルに投融資を行っている金融グループとして持続可能な社会の実現に向け、ESG投融資等を推進しています。

グループ紹介

金融の高度化、IT技術の進展などにより金融機関を取り巻く環境が大きく変化する中で、信金中金自体の経営基盤の強化や信用金庫の業務・経営にかかるサポートを行うため、連結子会社8社と一体となって幅広い金融サービス業務を展開しています。

■**証券業務**
しんきん証券㈱
信金インターナショナル㈱

■**海外ビジネス支援業務**
信金シンガポール㈱

■**消費者信用保証業務**
信金ギャランティ㈱

■**投資運用業務**
しんきんアセットマネジメント投信㈱

■**投資・M&A仲介業務**
信金キャピタル㈱

■**データ処理の受託業務等**
㈱しんきん情報システムセンター

■**事務処理の受託業務等**
信金中金ビジネス㈱